

平成22年度一般会計当初予算説明資料

4款 衛生費

2項 環境衛生費

水・大気環境課（内線：7197）

4目 環境保全費

（単位：千円）

事業名	本年度	前年度	比較	財源内訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
湖沼水質浄化対策推進事業（中海）	5,938	3,591	2,347				5,938	
トータルコスト	18,847千円（前年度 12,705千円）〔正職員：1.6人〕							
主な業務内容	水質保全計画の進捗管理、協議会の運営など							
工程表の政策目標（指標）	中海湖沼水質保全計画に掲げる水質目標の達成（平成21年度中に次期5か年計画を策定し、平成25年度の水質目標を定める予定）							

事業内容の説明

1 事業の目的・概要

中海の水質改善を図るための水質浄化施策の推進及び検討

2 主な事業内容

(1) 第5期中海湖沼水質保全計画（平成21～25年度）の推進

ア 水質保全計画の進捗管理

関係行政機関で組織する会議の運営、計画に掲げる水質目標の達成に向けた浄化施策の推進

イ 県民参加による湖沼環境等の調査の実施

五感指標を用いた湖沼環境調査の実施、小学生参加による身近な河川の水質調査の実施

ウ 中海エコ活動レポートの発行

環境保全活動を行う関係者の協働による取組促進のための情報誌を発行

(2) 中海水質改善対策協議会の運営

鳥取・島根両県及び関係市町で構成する協議会の運営、水質測定結果等の分析を行い水質改善措置等を検討

(3) 中海水質汚濁防止対策協議会の運営

鳥取・島根両県、関係市町及び両県の県議会議員等で構成する協議会の運営、国への要望活動

3 これまでの取組状況、改善点

○平成元年度以降、島根県と共同で4期20年にわたり水質保全計画を策定し、下水道の整備等の水質保全事業や、工場等各種汚染源に対する規制の措置等を総合的かつ計画的に推進してきたことにより、長期的には水質は改善傾向にあるが、目標水質を達成していない状況にある。

○引き続き、関係機関や地域住民等と連携・協力して浄化施策や調査研究を行う等、水質改善のための総合的な取組を推進する。また、第5期水質保全計画では、新たに米子湾流域を流出水対策地区に指定し、農地及び市街地における対策を重点的に実施する。

【平成22年度新規の関連事業】

○ラムサール条約湿地"中海"登録5周年事業

・中海自然浄化機能回復事業

自然の浄化機能による持続的な水質浄化が可能な環境の再生を図るため、水質浄化効果が期待できる事業（アマモ・コアマモ等の藻場造成等の委託）を実施する。

・みんなで守る中海の自然環境保全推進事業補助金

中海及びその上流地域において自治会や環境保全団体等が行う環境保全や賢明利用につながる活動について、その経費の一部を助成する。

○中海におけるコアマモ場の再生方法に関する研究（衛生環境研究所）

中海の藻場再生で有力なコアマモ場再生技術の開発を目指し、NPO等関係者の再生活動の技術的支援への活用につなげる。